

報道関係各位

2019年11月29日

**新技術で寿命を2倍に伸ばした浄水カートリッジ「JF-K10」「JF-K11」が
「2019年“超”モノづくり部品大賞」の生活関連部品賞を受賞**

株式会社LIXILでは、業界初の「造粒微粉炭」技術により、浄水寿命2倍を実現した新浄水カートリッジ「JF-K10」「JF-K11」※1が、この度、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する「2019年“超”モノづくり部品大賞」において、生活関連部品賞を受賞しました。

※1：INAXキッチン用オールインワン浄水栓「AJタイプ」専用品になります。



浄水カートリッジ「JF-K10」(上)、「JF-K11」(下)

INAXキッチン用オールインワン浄水栓「AJタイプ」
JF-AJ461SYX (JW)

「“超”モノづくり部品大賞」は、日本のモノづくりの競争力向上を支援するため、2003年に「モノづくり部品大賞」として開始され、2008年に現名称となった表彰制度です。産業・社会の発展に貢献する「縁の下の力持ち」的存在の部品・部材について、「機械・ロボット」、「電気・電子」、「モビリティ関連」、「環境・資源・エネルギー関連」、「健康福祉・バイオ・医療機器」、「生活関連」の6分野に分けて表彰するもので、今回で16回目の実施となります。

今回受賞した浄水カートリッジ「JF-K10」「JF-K11」は、LIXILが長年培ってきたセラミック技術を活かした、業界初の「造粒微粉炭」製造技術により、浄水カートリッジの大きさはそのままに、浄水能力の寿命を従来比2倍に進化させ、さらに水栓同梱浄水カートリッジの除去物質も5から10へと増加※2するなど、より安心安全を追求しています。カートリッジの寿命が延びることで、交換の手間も少なくなるほか、近年の安心安全な水を求める消費者のニーズに応え、お米研ぎや野菜洗いなどにもたっぷりお使いいただけるようになります。

※2：「JF-K11」の場合

LIXILでは、今回の受賞を機に今後も水栓だけでなく、お客さまのニーズに幅広くお応えできる商品開発で、豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

【“超”モノづくり部品大賞概要】

- 主催：モノづくり日本会議、日刊工業新聞社
後援：経済産業省、日本商工会議所、日本経済団体連合会
対象：機械・ロボット、電気・電子、モビリティ関連、環境・資源・エネルギー関連、健康福祉・バイオ・医療機器、生活関連
贈賞式：2019年11月29日（金） 東京・錦糸町 東武ホテルレバント東京にて（予定）

<参考資料>

■浄水カートリッジ「JF-K10」「JF-K11」の特長

- ・浄水能力の寿命を2倍にした浄水カートリッジを新開発

「造粒微粉炭」の製造に成功。活性炭を $10\mu\text{m}$ に粉碎した後にナノファイバーで再結合することで、接触効率を飛躍的に向上させました。これにより、総ろ過水量(使用可能な水量)が従来の1,200Lから2,400Lと2倍にアップ、結果としてカートリッジの寿命が大幅に伸び、交換の手間の軽減につながります。

